

所 属 鳥取県漁業協同組合（網代港支所）
氏 名 やまもと ただし
山本 忠司（56歳）
船 名 ふくしょうまる
福昌丸 87トン
漁業種類 沖合底びき網



～赤く輝く甘エビを生み出すエリート漁師～

網代の甘エビは色よし、味よしの一級品である。中でも、ひときわ赤く輝く宝石のようなエビを漁獲する船がある。その船こそが福昌丸、山本さんが船長を務める船だ。

山本さんは高校を卒業後に漁業の道に進んだ。最初に漁を経験した後は、あまりの辛さに一回でやめようと思ったという。しかし、もう一回、また一回と続けるうちに慣れてしまったらしい。続ける原動力となったのは、一緒に漁業をする同期の仲間だったと言う。「こっちも頑張らないと」と気を引き締めることが出来た。同期の友人に支えられた山本さんはメキメキと頭角を現し、炊事係から始めて5年後、23歳の若さで船長に見事抜擢された。

そんなエリート漁師の山本さんが語る、船長にとっての大切なことは「くだらない話をする事」だとか。とるに足らない話は、コミュニケーションを円滑にし、船員の関係を円満にする秘訣である。そんな山本さんが引っ張る福昌丸だからこそ、チームワークは抜群に良く、選別などの手際が驚くほどいい。その結果が、あの宝石の様なエビなのだ。

～ギャンブルのルール～

山本さんの趣味は競馬である。そして、競馬には山本さんならではのルールがある。それは決して勝たないこと。運は、使えば使うほどに減っていくものなのだ。あえて、競馬では勝たないようにしてためた運を、漁業で使う。エリート漁師は、ギャンブルのルールも一味違うのだ。

（文責：藤岡 秀文）